

事務事業名 ごみ収集事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：385

施策：	23	循環型・低炭素社会の構築	財務コード	01040202-01-00
基本事業：	02	ごみの資源化の推進	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	ごみの資源化率 分別間違いの割合（収集ごみの混入率）		担当課	環境課
			担当係	環境保全・廃棄物



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民（世帯）			家庭から排出される廃棄物（ごみ）を収集し、クリーンヒル宝満まで運搬する。 業務委託により実施 ・定期収集（可燃物、不燃物、ビン、カン、ペットボトル） ・粗大ごみ ・乾電池（拠点回収） ・動物の死体 ・白色トレイ、紙製容器包装、紙パック（拠点回収）						
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
家庭から排出された廃棄物を適正に処理する。									
4．成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標
不適正ごみ出し警告ラベルの貼付数		枚	3,034	3,014	3,500	3,000			3,450
5．コスト									
事業費		計	千円	624,424	632,131	643,699	680,595		
		国	千円	0		0	0		
		県	千円	0		0	0		
		地方債	千円	0		0	0		
		その他	千円	234,323		238,719	240,417		
一般	千円	390,101	632,131	404,980	440,178				
正職員人工数		人工	0.9	0.9	0.9	0.9			
正職員人件費		千円	7,196	7,280	7,259	7,187			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	631,620	639,411	650,958	687,782			
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）		市民、事業者が正しくごみを排出しているか把握するため、現地調査を実施した。調査結果を元に、事業者に対し、正しいごみの出し方を啓発した。							
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	市民や事業者が、ごみを正しく分別できるようごみ出しカレンダーやホームページにより分かりやすい情報提供に努めた。 平成29年3月より（株）リネットジャパンと協定を締結したことでパソコンや小型家電をネットで申し込み排出できるようになり、利便性が向上した。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	なし								
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
平成20年度より、ごみの分別を6種類から14種類に変更した。定期収集は、可燃物、缶、ビン、不燃物、ペットボトルに分別され、指定袋により収集している。					備考・特記事項 or 進行管理欄				